

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善計画(評価表) 令和7年4月作成 計画

<目標> 当院では、看護職員とその他の職員が役割と責任の違いを理解し、業務分担することで、効率よく安全で質の高い看護を提供することを目指します

現状	対応方針	具体的な計画	令和7年4月	6月	8月	10月中間評価	12月	令和8年2月	3月最終評価
----	------	--------	--------	----	----	---------	-----	--------	--------

業務の役割分担

患者様の高齢化、重症疾患が増えて看護職員と他職種の業務分担が不明瞭となり看護職員が看護業務に専念できていない	部署リーダー会議などを活用し、他職種との役割分担や業務内容の整理を行う	看護職員とリハビリ:早出・遅出の業務分担 看護職員と薬剤師:疑義照会は医師と直接行う、服薬指導の促進 看護職員と診療放射線技師:患者の移送を分担する 看護職員と臨床検査技師:検体の運搬を分担する 看護職員と地域連携室:カンファレンス・病状説明の日程調整業務の分担、退院支援 看護職員と事務職員:入院時必要書類の準備及びスキャン取り込み業務を分担	部署リーダー会議などを活用し、役割分担や業務内容を再度整理する		薬剤師と話し合い、服薬指導可能な条件を確認し、対象患者を限定して協力要請する  地域連携室と話し合い、カンファレンス・病状説明の日程調整業務の分担進捗を確認する		他職種に依頼できる業務内容の整理を行う		
	看護職員と清掃業者・障がい者雇用の方と面談を行い役割分担や業務内容の整理を行う	看護職員と清掃業者:入退院の清掃役割分担、ごみ収集、環境整備  看護職員と障害者雇用:ごみ収集、運搬の分担、環境整備の分担	清掃業者・障がい者雇用の方と面談を行い役割分担や業務内容の整理を行う		清掃業者・障がい者雇用の方と面談を行い役割分担や業務内容の整理を行う		清掃業者・障がい者雇用の方と面談を行い役割分担や業務内容の整理を行う		
	看護チームにおいて、各職種の役割の違いを理解し、効率的に看護が提供できるよう、看護職員と看護補助者の業務分担を見直す	看護補助者が行う業務内容ごとに業務範囲、実施手順、留意事項等について示した業務マニュアルを見直す。看護補助者に対して、年1回以上マニュアルを用いて研修を行う。(病室の環境整備、看護職員指示にて軽症患者のシーツ交換、退院患者の身支度、食事の配膳、下膳、院内物品運搬補充等) 看護職員に対して、看護補助者の活用に関する研修を年1回以上行う。	看護管理者が、看護補助者の活用に関する研修を受ける 看護補助者研修(日本看護協会)		看護職員に対して、看護補助者の活用に関する研修を行う 看護補助者に対し、看護補助者標準研修を行う		看護職員に対して、看護補助者の活用に関する研修を行う 看護補助者に対し、看護補助者標準研修を行う		

看護職員の処遇

家庭の事情や健康状態により、有休取得率に個人差がある業務量増加のため、スタッフに希望通りの休みを計画出来ない	勤務管理の改善 看護職員に面接を実施し、有休取得を促す 看護職員の増員 看護補助者の増員	勤務希望(希望休)の確認 計画的に月1回の有休を取得 男性職員の育休を取得	看護職員に面接を実施し、年間スケジュールから有休取得希望の確認を行う		有休取得状況の確認		有休取得率の個人差を調整する		
--	---	---	------------------------------------	--	-----------	--	----------------	--	--

看護職員の勤務状況確認

夜勤は月4回以下を目標としているが一時的に月6回行うことがある 緊急入院対応などで超過勤務がある	看護職員配置増 時差出勤の調整 超過勤務時間の把握	夜勤可能な看護職員5名、看護補助者2名の増員 早出・遅出勤務を1名から2名に増やす 夜勤専従配置継続 入職看護職員が早めに夜勤に入れるように計画 超過勤務時間調査	夜勤可能な看護職員の採用計画	入職看護職員の夜勤練習開始	入職看護職員の夜勤開始 超過勤務時間調査と個別面接		夜勤回数の状況把握 超過勤務時間調査と個別面接		
---	---------------------------------	---	----------------	---------------	------------------------------	--	----------------------------	--	--